



夢いっぱい
舞鶴っ子

学校教育目標

「豊かな心を育み 自ら考え 学び
たくましく生きる舞鶴っ子の育成」

新しい舞鶴小ホームページが9月から公開予定！

大分市立舞鶴小学校

検索

学校の様子は、HPでもご覧いただけます。

せ…先手あいさつ
ち…ちこくをしない
あ…「ありがとう」が飛び交う学校
今月のめあて: 「しっかり整頓」

令和元年度 第2号 令和元年8月26日(月)

学校のひまわりも花盛りを過ぎ、朝晩は少し過ごしやすくなってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。夏休みも終わり、全普通教室に空調設備が整った中で、児童たちは「実りの2学期」をスタートさせました。

第1号で紹介した本校の1学期の取組について、児童や保護者の皆様にお書きいただいたアンケート結果等を基に自己評価しました。その概要を以下の4つの重点目標に沿ってお知らせします。

(◇は、各重点目標に関し本校が目指すべき児童の姿として掲げた数値目標とその達成状況を表しており、その数値目標を達成するために本校が取り組んできた具体的取組の振り返りを(1)～に、2学期以降の取組の改善策等を○で示しています)

1 自ら学ぶ姿勢を身に着けた児童の育成

◇ 「国語、算数の各単元テストの平均点を80点以上にする」

国語の全校平均点は85.1点、算数の全校平均点は84.8点であり、目標はクリアしました。

- (1) 登校後15分間の「スキルタイム」に落ち着いて取り組んでおり、88.5%の児童が「漢字や計算の力がついた」と回答しています。
 - (2) 88.8%の児童が「1時間の授業の中で『今日は何を勉強したか』『何ができるようになったか』が分かる」と回答しています。
 - (3) 93.7%の児童が「長い文章を読んだり書いたりする家庭学習課題にあきらめずに取り組むことができた」と回答していますが、「そのようにお子さんが取り組んでいる」と回答した保護者は73.5%でした。
- スキルタイムで、漢字プリントと「百ます計算」、読書等に今後とも取り組ませます。
 - 授業の最後には、「何を学んだのか」をできる限り自分の言葉で振り返らせます。
 - 読解力等を高めるため新聞記事を活用した週末課題に取り組ませるとともに、日常的な家庭学習の習慣化を目指します。お子さんの学習を促す励ましや学習スペースの確保、静寂な時間の保障、マル付け等、保護者の皆様の可能な範囲でのご協力もよろしくお願いいたします。

2 ルールやマナーを大切に、思いやりのある児童の育成

◇ 「学校の決まりを守り、友達にやさしく接する児童の割合を90%以上にする」

「せ・ち・あ」や毎月の生活目標、「生活のきまり(舞鶴の子ども)」を守ることができた児童は、いずれも90%以上であり、「まわりの人のことを大切に考えることができた」児童は94.8%でした。

- (1) 「せ・ち・あ」や毎月の生活目標について学級(学年)通信で取り上げたり、各クラスの帰りの会で振り返らせたりし、徹底を図りました。ただ、運動会終了後から登校が遅れる児童が目立つようになりました。
 - (2) 友達に対する言葉遣いが気になる児童がいます。また、「学校が楽しい」と感じている児童は84%で、昨年度より5ポイント程下がっています。
- 全校朝会や昼の校内放送等で、児童の良かった言動や毎月の生活目標に対する各クラスの取組等について紹介します。
 - 児童の暴言等についてはその場で指導します。また、児童同士のつながりを深める集会や「なかよし班活動」、道徳教育に今後とも取り組むとともに、定期的なアンケートや観察等により「いじめ・不登校」を防ぎ、早期発見・対応に努めます。

(ウラへ続きます)

- 登校が遅れがちな児童の状況改善に、今後とも保護者と連携して取り組みます。
- 児童の就寝時間やネットとの付き合い方の改善を目指した集会を開催します。



ポインセ・チ・あ

3 健やかでたくましく生きる児童の育成

◇ 『「運動に一生懸命に取り組み、体力がついたと思う」児童の割合を80%以上にする』90.5%でした。また、1学期に実施した体力テストでは「握力」と「ソフトボール投げ」が全国平均と比較するとやや低い。

- (1) 体育の授業開始時にサーキット運動に取り組み「頑張りカード」に記入させ、自分の成長を振り返らせました。
 - (2) 昨年度の記録や全国平均等具体的な目標を設定し、体力テスト等の運動に取り組みせました。
 - (3) 1学期の「げんき週間」の取組では、就寝時刻に関する目標達成率が43% (昨年度は34%) でした。
- ボール投げに関する運動を取り入れたサーキット運動を継続して行います。
 - 持久走記録会に向け、昨年度記録を参考に児童に適切な目標を立てさせ、5分間走を行います。
 - 休日明けに前日の睡眠チェックを行い、睡眠時間に対する児童の意識向上を図ります。

4 小中一貫教育の推進

◇ 『「道徳の授業では、友達と話し合い、自分なりの考えを持つことができた」児童の割合を90%以上にする』93.5%であり、昨年度から教科化された道徳科の授業で、児童の「考え」が交流され、更に考えが深まっていることが伺えます。

本校全体の授業に対する取組として道徳科に焦点を当て、また、城東中学校区内の4小中学校で同様の取組を行っています。

- (1) 校区全教職員が8月6日(火)に合同研修会を計画していましたが、台風8号の影響で実施できませんでした。
 - (2) 児童が自分の考えを広げたり深めたりできる道徳科の効果的な授業展開についての校内研究を計画的に実施しました。
- 上記(2)に継続して取り組みます。
 - 校区内全教職員が本校に一堂に会し、道徳科の授業の進め方や小中一貫教育に関する取組について協議します。

※ 以上の内容を9月11日(水)の学校評議員会で説明し、ご意見等をいただく予定です。

5 その他

アンケートへのご協力ありがとうございました。「設問7(自由記述欄)」に15名(無記名の方を含む)の保護者の方からご意見等をいただきました。本校の取組に対する前向きな評価や励ましの内容が大半でした。いただいた内容については全職員で情報共有し、今後の上記対応策に取り入れたり、私たちの大きな励みとしたりしたところです。

その中から以下の2点について紹介し、学校からの回答とさせていただきます。

今後とも、学校のことやお子様のことで疑問に感じることやご意見等ありましたら、遠慮なくご相談ください。

「夢いっぱい舞鶴っ子」のために共に歩んでまいります。

- ① 「生活のきまり(舞鶴の子ども)」に関し、児童の校外の様子についての情報提供(具体的内容は割愛します) → 貴重な情報提供ありがとうございます。早速、全校集会で担当職員から全校児童へ注意喚起のための話をしました。児童の安全のため、今後とも家庭・地域で見守っていただきますようお願いいたします。
- ② 11月に行われる「ふれあい参観日」を数年前のように、出店や音楽集会等の楽しいものにして欲しい。現行形態では、きょうだいがある家庭は、うまく調整できず苦勞する。
→ 以前はご提案のような形態で実施していましたが、「遊興的要素が強すぎ、学校教育活動として実施するのはいかがなものか」「児童と家庭・地域の触れ合いが薄い」等のご意見があり、現行の実施形態になりました。7月10日(水)のPTA常任委員会で内容等が検討され、新形態となって3年目の今年も従来の形態を基本的に踏襲することが確認されたところです。

今年度の実施を踏まえ、同様のご意見等があれば来年度以降の持ち方の検討事項とさせていただきます。ご理解をお願いします。